

令和7年度 第1回松山地域協議会会議録

日 時 令和7年5月27日(火) 午後1時30分～4時00分
場 所 松嶺コミュニティセンター

出席委員 14名

庄 司 徳 由	岩 崎 彩	小 林 正 利	齋 藤 頼 雄
新 舘 武	新 舘 芳 子	庄 司 東 一	渡 部 謙 二
池 田 重 悦	遠 藤 均	白 旗 仁 美	櫻 田 憲 彦
井 上 亜 紀 子	後 藤 由 美		

欠席委員 1名

石 川 百 合 子

酒田市出席者

酒田市副市長	安 川 智 之
松山総合支所長	鈴 木 啓 介
松山総合支所長補佐兼地域振興係長	佐 藤 賢 治
松山総合支所長補佐兼建設係長	加 藤 弘 樹
松山総合支所長補佐兼市民係長	遠 田 夕 美
まちづくり推進課主査	眞 嶋 里 佳

1 開 会

○開会の言葉 佐藤支所長補佐

2 委嘱状交付

○安川副市長から委員へ委嘱状を交付
○安川副市長あいさつ、あいさつ後退席

3 自己紹介

○名簿順に委員が自己紹介
○松山総合支所職員の紹介
○事務局より地域協議会の概要について説明

4 会長、副会長の選出、あいさつ

- 事務局より、会長は小林正利委員、副会長は後藤由美委員を推薦、全会一致で承認
- 小林正利会長、後藤由美副会長よりあいさつ

5 議事録署名人の指名

- 事務局より議事録署名人に、荘司徳由委員を指名

6 報告

(1) 酒田市過疎地域持続的発展計画の策定について（まちづくり推進課）

～眞嶋主査より、「令和3年に策定した現計画の期間が、令和8年3月31日までであるため、令和8年度から5年間を計画期間とする次期計画を策定する。地域協議会へ9月頃に素案を、11月頃に計画案を提示するので意見をいただきたい」という主旨及び策定スケジュールについて説明～

(櫻田憲彦委員)

資料に添付されている各事業の進捗状況にある休止と未着手の違いは何か。

(眞嶋主査)

令和3年度から7年度までの間で事業を計画したが、令和6年度末現在で未着手のものと同期間の途中で事業を休止したもの、例として道路工事で災害復旧を優先して休止したものなどがある。

(櫻田憲彦委員)

松山スキー場に関する事業が2つあり、それぞれ休止と継続になっている。どちらが正しいのか。

(支所長)

資料にある休止・継続は所管課の判断であるが、松山スキー場に関する事業は、今年度から2か年でリフトの更新を行うことから次期計画にも掲載されるものと理解している。

(岩崎彩委員)

地域住民に意見聴取するとあるが、どういうふうに意見聴取をする予定か。

(支所長)

昨年の地域協議会で、買い物や公共交通に関し、松山地域の全世帯対象にアンケート調査を実施することを決めた。しかし配布直前に大雨災害が発生したため中止した経緯がある。今年度改めて現状を把握するため聴取したいと考えている。その中に本計画に関する項目を加えて、皆様より意見をいただき集約していく予定で検討している。

(池田重悦委員)

計画には年次計画があると思うが、資料として提出するなら年度末の進捗状況ではなく、5年間の年次計画を出していただきたい。それがないと進捗状況が分からないのではないか。

(眞嶋主査)

全体計画をお示しできればよかったが、今回は事業を抜粋した資料をお持ちした。令和3年度に作成した資料を後ほど支所経由で配布する。

(池田重悦委員)

この計画自体、令和7年度までに完了するといった計画なのか。

(眞嶋主査)

この計画は、やる、やらないではなく、やると考えられるものを載せる形をとっている。

(池田重悦委員)

着工しないということもありえるのか。

(眞嶋主査)

あり得る。

(池田重悦委員)

令和3年度からどこまで進捗したというならばわかるが、完了・継続・休止・未着工、来年度復活する可能性もあるということでは進捗状況とは言えない。

(新館芳子委員)

にぎわい創出事業とあるが、何をしているのかこれだけ見ても分からない。

(支所長)

松山地域にぎわい創出実行委員会という組織があり、クラフトフェアや松山秋まつりなど地域ににぎわいを創出するイベントを行っており、その財源とするため計画に位置付けている。

先程の池田委員の意見に対し補足説明するが、本計画は補助金や起債など有利な財源を活用するために、想定される事業を列挙した計画となっている。本来計画には、年次を示すべきであるが、そのようにはなっていない。

(池田重悦委員)

農産物加工所維持管理が継続とあるが、継続はするがまだ着工していないという意味なのか、着工はしたけれどもまだ完成してなくて継続となっているのか、どのような捉え方なのか。

(支所長)

既存施設の維持管理を行う事業であるので継続となっている。直接過疎債を財源として使

っているわけではないが、この計画に位置付けがないと大規模な修繕等が発生しても過疎債が活用できないため載せている事業であると理解願いたい。

(小林会長)

もう少し分かりやすい資料が欲しい。次回までに示してもらいたい。

(眞嶋主査)

承知した。前回計画を策定した際の資料を提示したい。皆様より可能であればホームページで計画全文が閲覧できるので確認いただければありがたい。

(2) 令和6年度市長報告会について

～鈴木支所長が資料に基づき説明～

(莊司徳由委員)

戸別受信機の配布の件はどうなったのか。

(支所長)

市長報告会の会議録にあるとおり、戸別受信機の配布はしないが、ラジオ難聴地域の解消を検討するとの回答であった。

(小林会長)

総合支所に相談に行くと、以前よりも迅速に対応してもらえるようになった。市長も話を聞いてくれる。そのような場で声を発していくことが大切である。

(3) 令和7年度松山総合支所管内の主な事業について

～鈴木支所長が資料に基づき説明～

(小林会長)

コミュニティ振興事業は人件費が増加しているため、実質の予算が年々減ってきている。行事を減らすなど見直ししてしのいでいる。

(支所長)

物価高騰や人件費増など、経常的な経費が年々増加しており、市の財政を圧迫していることもご理解願いたい。

(井上亜紀子委員)

数年前より山寺コミュニティセンターに松山学童保育所を併設しての改築を要望してきたが、大規模改修するとあるので、その話はなくなったということか。

(支所長)

山寺コミュニティセンターの改築と合わせて、松山学童保育所の整備を要望されてきたが、

財政的な点など総合的に判断し、山寺コミュニティセンターのみの改修に留める内容だと聞いている。

(小林会長)

昨年、山寺コミュニティ振興会役員と松山学童保育所運営委員会の後藤会長、田中市議にて、市長と議長へ要望に行き、話をよく聞いていただいた。しかし、新たな箱物は作れないということで、大規模改修となった。

(井上亜紀子委員)

松山小学校の生徒は減っているが、学童保育所に入る子は逆に増えている。現在の松山健康福祉センターは子供用のトイレがない、グラウンドやホールがないなど子供達が走り回れる場所がなく不便である。ぜひ山寺コミュニティセンター改築時に松山学童保育所も一緒に松山小学校の近くに行きたかった。残念である。

(小林会長)

これから設計に入るということで、協力出来ることがあれば相談させていただきたい。

(新館武委員)

地域おこし協力隊の採用については、コミュニティ振興会へ丸投げではなく、支所が主導していただきたい。そうでないとうまくいかないと思うので支所の意見をお聞きしたい。

(支所長)

地域おこし協力隊を市の移住施策の一環として、まちづくり推進課より市長公室へ業務移管し、隊員を20人に増やす計画で事業を進めている。資料には松山地域に2人とあるが3人になるかもしれない。内訳としては松嶺コミュニティ振興会に1人、松山総合支所に1人と考えているが、内郷コミュニティ振興会からも1人要望をいただいている。支所への配属に関しては、松山能、萩野流砲術隊、中山神社の祭典、眺海の森の施設など松山地域の資源を活用し発信していくような取組を支所と連携して行いたいと考えている。丸投げするという考えはなく、採用に至った場合は、支所もこれまで通りコミュニティ振興会と協働しながら協力隊の活動をサポートしていく。

(新館武委員)

眺海の森は、30年前は第2県民の森として整備され、県内屈指の施設となっていた。多額の予算を投資して施設整備を図ったが、その施設はほぼ閉館または休止している。道路もすぐれたものとなっている。さんさんの活用の話も立ち消えとなり、現在も残念な姿のままとなっている。いろいろな町をみても宿泊施設のない町は衰退しているように思う。協力隊の活動も含めてさんさんの再開も検討していただきたい。

(荘司徳由委員)

前に南部コミュニティ振興会へ配属された協力隊の方は、コミュニティ振興会でのいろいろな事業を主導し、地域の活動に積極的に取り組むなど地域に溶け込んでくれた方のほか、市の職員の補助みたいな感じで地域活動よりも自分の活動を優先していた方がいた。地域のためにきてくれるならいいが目的がはっきりしない方を採用するのはどうかと思う。採用の基準はどのようになっているのか。

(支所長)

採用にあたっては、本人とコミュニティ振興会の希望を聞いたうえで、コミュニティ振興会と共に面談等を行い決定している。地域の要望を十分尊重して採用してきた。

(佐藤支所長補佐)

今まではフリーミッション型で応募し、その方のやりたいことを聞いて賛同できる方を採用してきた。しかし、全国的にミスマッチによる離職が問題となっており、近年は、募集要項を作りこんでからの募集が一般的になっている。隊員が自由にどうぞというよりは、この場所でこういう協力者とともこのようなことに取り組み、一緒に地域を盛り上げましょうといった形になっている。現在松嶺コミュニティ振興会で募集する方の要項を作成しているが、そこに時間をかけている状況にある。

(荘司東一委員)

阿部記念館を閉鎖すると聞き、寂しい気持ちである。資料を伝承館に移して阿部次郎先生のコーナー充実を図るなどしていただけないか。

(小林会長)

文化政策課より、阿部記念館は倒壊の恐れがあるため取り壊し、資料は一時的に倉庫に保管しており今後伝承館に移す予定だと聞いている。山寺コミュニティ振興会で建物を残すためにクラウドファンディングを検討していたが、文化政策課からは倒壊の恐れがあり危険なのでやめてもらいたいと言われたことと、使用できるようにするには億単位の資金が必要ということも想定されるため断念した。

(荘司東一委員)

災害防災について。昨年の大雨災害の関連で、竹田排水機場について住民説明会をお願いしたいと伝えてきた。4月23日に国・県・市から出席していただき説明していただいたが、竹田自治会で要望してきた事項に対してなかなか要望を満たしていただけないという状況にあった。5月も終わろうとしているのに未だに具体的な話がきていない。早期の住民説明会をお願いしたい。

現在、県では水位計の設置を行っており、それには大変期待している。数日前に排水機場に国土交通省の職員が多く来ており、その方々に聞くと令和6年度に修繕した箇所 completion 検

査で来ているとのこと。ぜひ、どのような修繕を行ったのか分かる設計書を公開していただき、設計図からは当時の稼働状況が分かると思うので住民説明会で説明をお願いしたい。

排水ポンプ操作を専門業者へ業務委託することも以前よりお願いしてきたが、令和7年度は実現しているのか。市が操作を地域住民に委託していることが原因で、地域の住民の居心地が悪くなっている。要望書も出ていることなので早急な実現をお願いしたい。

防災行政無線の運用も適切をお願いしたい。また、雨量計は、坂本と亀ヶ崎の2か所しかないが、松山はその間ということで本当の雨量が分からない。坂本の雨量計のデータで説明されても本当にそんなに降ったのかという疑問をもっている。国・県は、坂本の数値で対策をとっていると聞いているおり、それに納得できない住民が多くいることから、支所へ雨量計を設置して、松山地区の本当の雨量を明確にさせていただくとともに、その雨量を支所より周知してもらいたい。

現在は中学生の部活の地域移行が進み、その受け皿として平田の目ん玉スポーツクラブが引き受けているが、ぜひ松山地域のみなスポ松山においても、スポーツ活動の推進を行っていただきたい。松山体育館が老朽化していることもあり、松山中学校の体育館の活用を推進をお願いしたい。校舎の解体も合わせて検討をいただきたい。みなスポ松山より松山地域の中核となり施策を展開できるよう、予算措置をお願いしたい。

(支所長)

国・県・市3者において、竹田地区の河川に係る減災のための連絡調整会議を立ち上げ、検討を行っている。只今の質問・意見については、連絡調整会議から別途説明してもらおう。本来は5月の住民説明会を目標として、4月23日に自治会役員の方々へ検討内容を事前説明したが、皆様からは到底納得が出来ないとのことで、再度そこで出された多数の意見について3者で検討している最中である。また、スポーツの推進については、みなスポ松山との検討課題とさせていただく。

7 協議

(1) 松山地域の振興について

(小林会長)

今までの事務局からの説明や報告を受け、今年度の協議会の進め方や取り上げるテーマなど、意見をお願いしたい。

(荘司徳由委員)

前回できなかった買い物と公共交通に関するアンケートを是非お願いしたい。そこから見える課題をぜひ取り上げていって、地域に密着した課題をとりあげていきたい。

(岩崎彩委員)

アンケートをとっていただき、近隣の意見は聞こえてくるが松山全域で何に困っているのかぜひ知りたい。意見を普段出せない方の意見を聞きたい。

(櫻田憲彦委員)

孫と松山を散歩しながら、地域の方の意見を直接聞いてみる。

(池田重悦委員)

以前委員の頃は市長報告会にも出席していたが、提言内容を話し合っても市長へ報告してそれで終わっている。立ち切れが多く成果が分からない。言いつばなしで終わってしまわないよう、進捗しているのかぜひ皆さんと考えていきたい。

(小林会長)

言い続けると断ち切れになる。眺海の森の件も含めて言い続けなければならない。言い続けると何もできない。100発言して1つでも実現できればいい。そういった会にした。住民の意見は貴重である。発言して前に進んでいけるようお願いしたい。

買い物対策の件だが、山寺コミ振では、100歳体操の日を各地区同じにして移動販売車を回せないか検討している。そういった取組を松山全体に広げられないか検討していければと思う。

(支所長)

先程の意見でいただいた、買い物のアンケートについては自治会連合会の皆様へ説明して承諾をいただき、実現に向かいたいと考えている。今後ともご協力をお願いしたい。

8 閉 会

(小林会長)

これで第1回松山地域協議会を終了する。円滑な議事進行に協力を賜り、感謝申し上げます。

(佐藤課長補佐)

第2回目は後日正式に案内するが、アンケートの集計が終わる9月位を予定している。資料も事前にお配りするので、次回も活発な意見を頂戴したい。